

令和4年度 予算要求状況について

◎予算要求額

1. 要求総額（一般会計＋特別会計）

歳入	406億8,245万円	+2.1%（前年度当初予算比）
歳出	422億8,042万円	+6.1%（前年度当初予算比）
財源不足額	15億9,797万円	-11億5,629万円（前年度当初要求時比）

令和4年度予算の要求は、前年度に引き続き、各部等に一般財源を配分し、範囲内で要求する枠配分方式としました。予算要求段階での収支ギャップは、15億9,797万円（前年度当初要求時収支ギャップは27億5,426万円）です。

基幹収入である市税は、経済活動の回復に伴い、法人税割と個人所得割の増収を見込んでいます。また、社会資本整備総合交付金（道路整備分）や新型コロナウイルスワクチン接種体制確保、新学校給食センター整備事業に対する国庫支出金の増により、歳入予算全体では、406億8,245万円と前年度当初予算より8億3,976万円（+2.1%）の増額要求となりました。

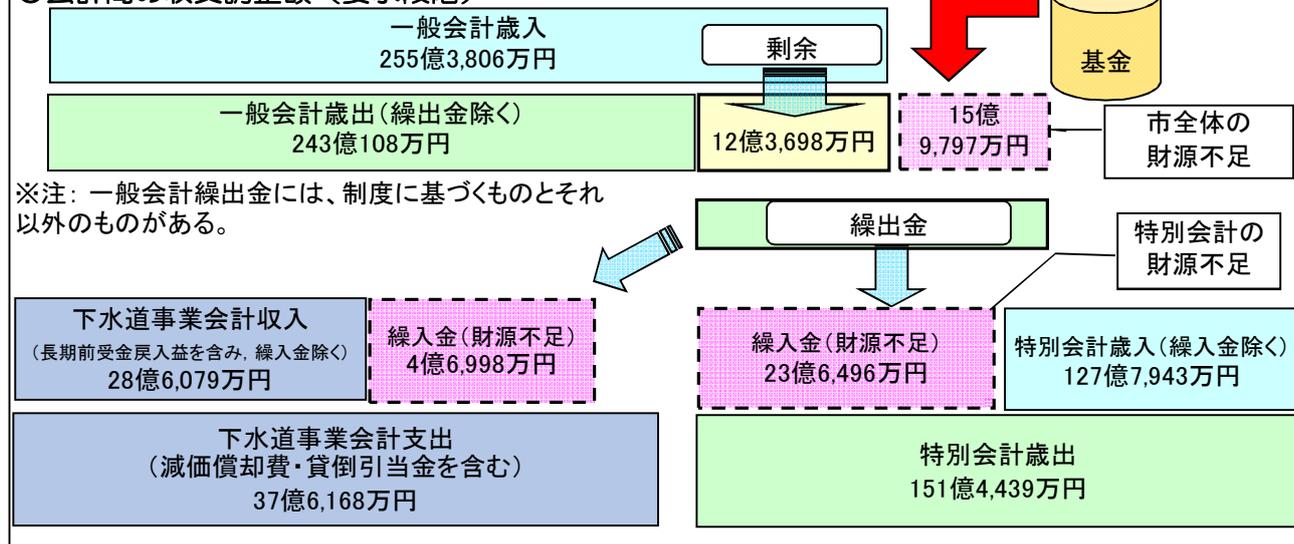
歳出では、新学校給食センターや市道1-380号線（佐貫3号線）整備、総合運動公園の管理運営費のほか、障がい者自立支援をはじめとした社会保障関係経費などの増により、歳出予算全体では、422億8,042万円と前年度当初予算より24億3,772万円（+6.1%）の増額要求となりました。

2. 会計別要求状況

（単位：千円）

会計名	令和4年度要求額		令和3年度当初予算額	対前年度当初予算比		同増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	25,538,056	27,136,024	25,782,000	△ 243,944	1,354,024	△ 0.9	5.3
国民健康保険事業特別会計	7,469,000	7,469,000	6,865,000	604,000	604,000	8.8	8.8
介護保険事業特別会計	5,853,823	5,853,823	5,438,000	415,823	415,823	7.6	7.6
障がい児支援サービス事業特別会計	77,290	77,290	68,200	9,090	9,090	13.3	13.3
後期高齢者医療事業特別会計	1,731,000	1,731,000	1,677,000	54,000	54,000	3.2	3.2
介護サービス事業特別会計	13,281	13,281	12,400	881	881	7.1	7.1
工業団地拡張事業特別会計	事業終了に伴い廃止予定		95	△ 95	△ 95	皆減	皆減
特別会計 合計	15,144,394	15,144,394	14,060,695	1,083,699	1,083,699	7.7	7.7
総計	40,682,450	42,280,418	39,842,695	839,755	2,437,723	2.1	6.1
下水道事業会計	収入予定額	3,330,772	3,234,540	96,232		3.0	
	支出予定額	3,761,683	3,831,000		△ 69,317		△ 1.8

○会計間の収支調整額（要求段階）



◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)		下水道事業会計(繰入前)	
歳入	255億3,806万円	+6.1%	127億7,943万円	+4.4%	17億3,235万円	-5.6%
歳出	243億108万円	+1.1%	151億4,439万円	+4.0%	22億709万円	-3.9%
財源不足額	+12億3,698万円		23億6,496万円		4億7,478万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

※注:下水道事業会計は収入・支出からそれぞれ長期前受金戻入益と減価償却費・貸倒引当金を除いた額。

2. 特別会計等繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	令和4年度 要求額	令和3年度 当初予算額	対前年度 当初予算比	同増減率 (%)
国民健康保険事業特別会計	493,665	521,791	△ 28,126	△ 5.4
介護保険事業特別会計	938,207	887,021	51,186	5.8
障がい児支援サービス事業特別会計	56,525	53,110	3,415	6.4
後期高齢者医療事業特別会計	875,285	829,293	45,992	5.5
介護サービス事業特別会計	1,280	898	382	42.5
工業団地拡張事業特別会計	0	1	△ 1	皆減
特別会計 合計	2,364,962	2,292,114	72,848	3.2
下水道事業会計	469,979	447,166	22,813	5.1

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額15億9,797万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、令和4年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、平成29年度から計画期間となっている、当市の最上位計画「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実効性を担保します。

【第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける5つの戦略】

- 戦略1 若い世代の希望の実現「若者・子育て世代の定住環境の創出」
- 戦略2 教育環境の向上「まちづくりを担う人づくり」
- 戦略3 地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
- 戦略4 地域力の向上「安全・安心で住みよい環境づくり」
- 戦略5 持続可能な行財政運営「将来につながる基盤づくり」

